

第 31 回 名古屋総会

第 31 回新京桜木小学校同窓会は、中部支部の担当で昨年 11 月 12 日、名古屋市メルパルク“NAGOYA”で開催されました。参加者は同窓生 61 名、賛助会員 5 名、同伴者 5 名の総勢 70 名でした。

午後 5 時 30 分、宴会場の調整室からのカメラで記念写真の撮影。6 時から中部支部の横山恒雄（12 期）幹事（写真：左）の司会で開会しました。



この 1 年間の物故者の冥福を祈って黙祷し、続いて出席者全員で校歌を斉唱しました。

まず主催の中部支部を代表して酒井希久朗中部支部長（13 期）（同：右）が多く出席者を迎えて嬉しいと挨拶。



黒岩武会長（8 期）（同：下）は、「第 31 回を迎えられたことを感謝、今後とも元気で同窓会を継続していこう」と挨拶しました。



恩師は滝本節子先生（同左）がただ 1 人出席して、総会の継続をお世話している皆さんに感謝すると、

話されました。

ひき続き、事務局から棚瀬幸雄幹事（14 期）（同：下）が事務報告を行い、その中で半澤太福（たかよし）事務局長（10 期、平成 20 年 5 月没）から平成 19 年 5 月、事務局を引き継いだ以降の会員の動向が報告されました。

それによりますと、同 17 年に最後の発行となった名簿第 12 号では、恩師と同窓生だけの国内の会員数は 1,191 名でしたが、以後、今回の総会までに 315 名減って 877 人と、約 3/4 となりました。



内訳は、新入会員が 50 名に対し、物故者、退会、住所が不明となった会員が 365 名で差し引き 315 名の減員となったものです。総会案内の送付は、会員の消息を捕捉できる唯一の手段ですので転居などのご連絡を是非、お願いいたします。

第 2 代会長 吉津 成さん逝く



第 2 代会長で顧問の吉津成さん（3 期）が、昨年 8 月 6 日亡くなりました。享年 87 歳。

吉津さんは、初代会長、大内宏さん（1 期、平成 9 年没）の後を継いで、平成 4 年から第 2 代会長を務めましたが、同 16 年に辞任しました。

昨年 6 月 2 日の関東支部懇親会に、伊東市から顔を出されたのが最後となってしまいました。当日も体調が良くないと、直ぐ帰られ、心配していたところでした。

なお、これまで新入会員は、ホームページを見ての入会も多かったのですが、近年は、ホームページを娘さんが発見しての入会が目立っています。

今回も娘さんがホームページを見つけて同窓会の存在を知り、溝口（旧姓中川）決子さん（10 期）が入会し、伊万里市から出席したと紹介されました。



この後、名古屋総会では恒例となっているバトン演技が披露され、後半は、日比哲郎（10 期）、本多康子（14 期）両支部幹事（同：左）の進行で乾杯。

音頭は何時もご夫婦で出席の浦野友行（4 期）さん（同：右）でした。



懇親会は、期ごとのテーブルから次第に全体に広がり、写真を撮るところもあつたり、予定の 2 時間を超えて閉会しました。

閉会の辞は、平野熙幸幹事長（14 期）（同：左）で、来年はスカイツリーのある東京でお会いしましょうと締めくくりました。



総会翌日 13 日の観光は、名古屋科学館と「文化のみち」。  
科学館に予約済みのプラネタリウムは、世界最大という直径 35m のドーム、350 席のリクライニング&回転シート。これに寝そべて、11 月のテ



ーマ「宵の明星」中心の説明を 50 分聞きました。

名古屋名物”ひつまぶし”で昼食の後は、「文化のみち」。旧川上貞奴邸と榎木館を見学しました。



### 「仔羊たちの戦場」の著者

#### 谷口 侘さん亡くなる

「仔羊たちの戦場—ボクたち中学生は関東軍の囚兵だった」の著者、7 期の谷口侘(ただし)さんが、昨年 12 月 9 日に亡くなったと、妹の 10 期上村保子さんから連絡がありました。享年 83 歳。



「昭和 20 年 8 月 9 日、その日突然、満州の大地は硝煙に覆われ、広大な迷路と化した。信じていた国家に裏切られ、苛烈な戦火の最中に放り込まれたわずか 14 歳の中学生たちは、その迷路を逃げ惑いながら何を見たのか?・・・」。同書は昭和 63 年 8 月に読売新聞社から出版され、同窓生の多くの方がお読みになったことでしょう。

谷口さんは、昭和 5 年(1930 年)旧満州の大連で生まれ、同 21 年引き揚げ。同 28 年、鹿児島大学工学部卒業、安藤建設株式会社に入社、後に建築家として独立しました。

#### 武部信義 前幹事長逝く

体調を崩し幹事長を辞任した武部信義さん(14 期)が、2 月 19 日亡くなりました。享年 76 歳。父は旧満州国國務院総務長官・武部六蔵氏。



**役員選任** 昨年、武部信義幹事長(14 期)の辞任に伴い、平野熙幸幹事(14 期)が 10 月 1 日付で幹事長に就任しました。

- |     |           |      |        |
|-----|-----------|------|--------|
| 会長  | 黒岩 武⑧     | 同    | 加藤瑠璃子⑫ |
| 副会長 | 内布 康二⑪    | 同    | 久芳 繁⑬  |
| 同   | 長岡扶美子⑦    | 同    | 棚瀬 幸雄⑭ |
| 同   | 酒井希久朗⑬    | 会計   | 森 静子⑮  |
| 幹事長 | 平野 熙幸⑭(新) | 会計監査 | 小林 陽子⑩ |
| 幹事  | 神戸 薫子⑧    | 同    | 相京 博士⑪ |
| 同   | 根津 和子⑨    | 顧問   | 齋藤 欣一⑥ |
| 同   | 中村 哲⑩     |      |        |

#### <新会員>

	氏名	旧姓	〒	住所	電話
10期	溝口 渕子	中川			
賛12	藤中 秀子				

#### <住所/表示変更>

3期	佐々木 嘉郎	海元			
4期	篠原 吉哉				
7期	遠矢 千鶴子				
9期	有安 齊				
9期	滝口 一志				
9期	吉田 太門				
10期	岡田 晃吉				
13期	飯吉 厚夫				

#### <転居先判明>

4期	尾崎 三男			
13期	伊吹 万里			

#### <物故者> 謹んでご冥福をお祈りいたします。

氏名	旧姓	去世	氏名	旧姓	氏名	旧姓	氏名	旧姓	氏名	旧姓
師 宿輪 ケイ		平25. 4. 28	5期 馬場 良久	野口	平25. 1. 9	8期 築山 信昭		平26. 2. 25		
3期 吉津 成		平25. 8. 6	7期 我毛 克己		平23.	9期 松嶋 璋		平25. 3. 1		
4期 豊蔵 一		平25. 12. 30	7期 谷口 侘		平25. 12. 9	9期 伊藤 夫美	村上			
4期 成田 頼明			7期 萩原 強		平23. 3. 6	14期 下条 貞武		平26. 4. 19		
5期 川畑 信朗		平24. 7. 16	7期 桜井 せつ子	上村		14期 武部 信義		平26. 2. 19		
			8期 関善 一		平25. 10	14期 清水 三子	手塚	平25. 6. 25		
						14期 服巻 恂子		平25. 8. 12		

#### <転居先不明>

師 野田 美佐子	大森	4期 桑田 古代	山成	5期 菅原 典男	上田	7期 坂田 葵子	小倉	10期 安田 美保	日高
2期 小野 博子	相良	4期 安田 董	道岡	7期 渋谷 正義		9期 大淀 陽子	小貫	11期 岩橋 宏	

#### <退 会>

2期 片桐 まさ		3期 石田 昭		8期 角谷 允		8期 角谷 佐知子	清水	10期 橋本 亘子	堀口
								14期 菊地 富子	若木

消 息  
2014.6.30  
現在

## 70年ぶりの母の出会い

「ねむりひめの目覚めはいつ」の著者

子育て支援団体「ひまわりママ」会長 堀本公子

(昨年の総会後に投稿がありました。以下は抜粋)

今年(2013年)、母(溝口決子・10期生 旧姓中川)にも故郷との出会いがあった。伊万里の両親と同居し始めた妹が、母の幼い日の話から偶然、新京櫻木小学校同窓会のホームページを見つけた。

樺太生まれ満州育ちの母は、この小学校の10期生。4年生だった昭和18年10月、佐賀県多久市に一家で引き揚げてきた。ホームページには当時の写真や校区の地図、同窓生が著した書籍などがたくさん紹介されていた。

「いつ、どのクラスのものか不明です。ご存知の方はいませんか?」と書かれた1枚の写真が目にとまった。なんと、それは母が大切に持っていた小学校入学時の学級写真と同じものだった。

平成25年度年会費を納められた会員 (順不同・敬称略)

母は担任の先生の名前と、隣に写っている友達の名前を忘れてはいなかった。早速、妹がメールで知らせ、母は80歳で同窓会に入会した。

母同様、妹も私も感激し、関連書籍を夢中で読んだ。図書館で借りたこの本を涙で濡らさずに読むのは容易なことではなかったが、辛い歴史も次の世代に語り継いでいかなければならないと思った。

先月(2013年11月)、名古屋で開催された第31回同窓会に出席する母に同伴した。妹が母を博多駅で新幹線に乗せ、私が名古屋駅のホームで受け取り、会場へ。

同窓生70人、同伴5人の盛大な会に、母は新入会員として大歓迎され、うれしいながらも少し戸惑っていた、今は亡き恩師や同胞に黙祷を捧げた後は、艱難辛苦を共にしてきた仲間との再会の喜びの時間変わった。

今、生きて平和の中にある喜びに感謝するとともに、誰ひとりとして故郷と平和を失うことのないようにと願わずにはいられなかった。

(師) 松永祐孝 諏訪敏子 高瀬千代子 滝本節子 羽田恭子 廣野貞子 (1期) 斉藤道正 中野寛 浦精 水野好子 鷺谷嘉子 (2期) 伊藤貞子 長田京子 (3期) 川口哲夫 佐々木嘉郎 櫻井重彦 田中和雄 森本静夫 山中勝光 石崎昭子 服部和子 (4期) 浦野友行 黒田涵兵衛 篠原吉哉 鈴木倫敦 伊達愛巳 豊蔵一 村上安則 山内誠示 渡部昭一郎	宮城千鶴子 森丘和香子 盛本昱子 (5期) 石川斉 小笠原恒信 小形喜代志 筒井昭 増田好彦 和田敦雄 岡部春海 桂禧代 小谷良子 斉藤淳子 塩見文恵 武田雅子 西田房子 (6期) 斉藤欣一 堀内光雄 堀口恭宣 向井徹 柚谷圭三 石川里子 上田美智子 奥西博子 斉藤奎子 佐藤美智子 進藤栄子 新谷禎子 高橋紀代子 鎮守満子 南郷みどり 樋口清子 平山澄子	福田洋子 牧野英子 丸山清子 村山美代子 森崎千恵子 安田淑子 柳本禮子 山田てる子 山本洋子 渡邊眞智子 (7期) 五十嵐宏三 遠藤英裕 勝田尚夫 高松不匱 平野孝路 鹿毛篤子 金子ひろみ 亀岡佳子 刈谷志津 関口和子 田中和枝 武谷潤子 遠矢千鶴子 長岡扶美子 原義子 太布サチ (8期) 阿久津武雄 小原敏 亀田実 黒岩武 古瀬亨 小林修 高橋徹朗	長沼孝雄 濱克夫 升内均 松島緑郎 伊藤智子 石原敦子 石森順子 上原睦子 太田京子 神戸薫子 木村欣子 近藤照子 園田洋子 高橋玲子 土橋道子 新枝幸枝 野中良子 馬場洋子 森かよ子 矢崎水尾 山本菊江 (9期) 有安斉 池上賢 遠藤了一 加藤修身 辛島敦生 齋藤博 下条貞友 世良明 滝口一志 利光久輝 鳥谷惇 羽賀道信	橋本修二 浜田逸郎 福中脩 前田晃一 吉田太門 池上とし子 片山敏子 近藤洋子 瀬戸山良子 竹田イサ子 丹純子 西川幸子 根津和子 萩原光子 森川マリ 山崎真子 山田晶子 (10期) 梅原幸雄 小野登茂衛 岡田晃吉 桜井秀郎 日比哲郎 平井丈夫 有吉翠 桶山弘子 上村保子 河尻斐子 小林陽子 杉田美都枝 染谷裕子 田上久子 土屋ゆかり 戸川田美子 中島敏子	西尾俊子 仁科京子 橋本亘子 福島仁子 星川正子 堀川マツ子 前田絹子 水鳥桂子 溝口決子 湯本雅子 吉田弘子 (11期) 相京博士 浅川幹雄 熱海静雄 飯吉光夫 内布康二 小名木久夫 北島米和 小山硬 佐藤義男 品川次郎 高尾邦孝 手柴秀孝 中島勝 中原巨二 野村健也 平野熙明 堀口武 松岡将 渡辺順一 渡邊尚 江口洋子 緒方濤子 加藤岡八千代	木村正子 北野玲子 澤井恭子 園田弘子 田中慶子 高柳多津子 筒井恵津子 野村さゆり 藤岡貞子 藤原聖子 古屋恭子 村上百合子 山下朗子 渡辺幹子 (12期) 川北昌弘 木塚昭則 滝川尚二 武田邦彦 野村康治 藤原英夫 森敏昭 横山恒雄 安達美和子 池田タツ子 伊藤泰子 加藤瑠璃子 樫本伸子 喜々津多栄子 菊川昌子 熊原敏栄 鈴木令子 永江末加岐 前田暢子 松本正子	米長ハル子 (13期) 飯吉厚夫 久芳繁 栗田達雄 佐々木慧 佐々木正教 酒井希久朗 菅原宗人 新谷治 野村浩康 松本正 光岡義明 山中章伍 明石奈保子 近江環 小川昌子 岡本弘美 加藤蓉子 木全ミツ 近藤満美子 澁谷恭子 谷川和子 玉木恭子 藤永美沙子 (14期) 青柳定郎 下条貞武 武部信義 棚瀬幸雄 平野熙幸 村上満男 岩瀬立子 菊地富子 小林道子	武内充子 西野愛子 原田恭子 服巻恂子 坂東義子 森和子 横山宏子 (15期) 大塚至誠 坂田信之 木村厚子 酒瀬川千恵子 高田佐衣子 高村珂珠子 南好子 森静子 (賛助) 井田哲夫 奈良満雄 武多努 北川フミ 菅沼一美 高橋うらら 藤井登茂子 本多康子 鰐部千代子  [過年度分] (5期) 斉藤淳子 (10期) 前田絹子
---	--	---	---	---	--	--	--	---

第31回 名古屋総会収支報告書

実施：平成25年11月12日、13日 会場：メルパルクNAGOYA

収入の部			支出の部		
項目	金額(円)	摘要	項目	金額(円)	摘要
総会費	1,346,000		総会費	1,098,260	
(内訳) 宿泊者	1,116,000	18,000×62	(内訳)	451,400	宿泊57名
日帰者	150,000	10,000×15		534,510	宴会72名
同伴者	80,000	16,000×5		112,350	写真65枚
観光費	392,000	8,000×49	観光費	327,530	
			(内訳)	236,450	バス代、昼食代(バス会社)
				91,080	科学館、文化のみち入館料他
			払戻金	220,192	12名、送料等含む
			振込手数料	32,450	71件
本部負担	175,504		印刷費	28,604	
			発送費	87,500	
			会場吊り看板他	59,400	
			本部会計繰入れ	59,568	
合計	1,913,504			1,913,504	

平成25年度決算報告書(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

① 本部

収入の部			支出の部		
項目	金額(円)	摘要	項目	金額(円)	摘要
前期繰越金	538,449		支部活動費	232,800	@58,200×4
年会費	580,000	@12,000×290	総会費	175,504	本部負担分
過年度年会費	4,000	@2,000×2	印刷費	40,744	会誌他
寄付金	13,000		通信費、事務用品等	17,770	
受取利息	244		慶弔費	109,893	吉津顧問、武部前幹事長
総会剰余金	59,568		次期繰越金	618,550	
合計	1,195,261		合計	1,195,261	

② 関東支部

前期繰越金	402,018		幹事会費	36,505	
支部活動費	58,200		懇親会費	201,237	5/31
寄付金	30,000		通信費他	17,670	
懇親会費 5/31	195,000	@6,500×30	次期繰越金	429,806	
合計	685,218		合計	685,218	

③ 関西支部

前期繰越金	171,105		幹事会	10,344	
支部活動費	58,200		懇親会	263,076	3回
懇親会費	222,100	個人負担 3回	通信費、事務費	22,800	
受取利息	145		次期繰越金	155,330	
合計	451,550		合計	451,550	

④ 九州支部

前期繰越金	211,596		例会費	148,764	3回
支部活動費	58,200	25年度分	次期繰越金	212,080	
例会費	91,000	個人負担3回			
受取利息	48				
合計	360,844		合計	360,844	

⑤ 中部支部

前期繰越金	488,367		総会費	52,570	会議費、下見3回他
支部活動費	58,200	25年度分	懇親会費	395,915	3回
懇親会費	345,500	個人負担	通信費、慶弔費他	35,436	
受取利息	108		次期繰越金	408,254	
合計	892,175		合計	892,175	

(平成26年6月30日現在 会員数)

	師	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	計	賛助
男	6	5	1	15	34	24	27	37	29	51	32	33	37	24	23	9	387	6
女	11	13	13	17	21	37	41	43	43	53	50	33	32	28	12	14	461	8
海外	0	0	1	2	0	0	1	2	1	2	1	4	2	0	1	0	17	0
計	17	18	15	34	55	61	69	82	73	106	83	70	71	52	36	23	865	14

(平成25年6月30日現在との比較)

増減	-3	0	-2	-2	-3	-1	0	-5	-3	-4	-1	-1	0	1	-5	0	-29	2
----	----	---	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	---	---	----	---	-----	---